

実践のまとめ（中学校 1 年 英語科）

授業公開日 令和 7 年 11 月 27 日 第 5 校時

指導者 佐渡市立佐和田中学校

教諭 大谷 智恵

1 研究テーマ

相手意識をもち、思考力・判断力・表現力を高める生徒の育成

2 研究テーマについて

(1) 研究テーマ設定の意図

学習指導要領では、外国語科の目標を「簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること」とし、そのために、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせること」つまり「コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」と述べられている。

これまでの指導では、自分の伝えたいことや伝えられることを少しでも多く表現するよう指導してきた。また、目的・場面・状況を設定していても、実際に生徒が表現するものが真に相手のことを考え、配慮したものであるかと言われるとそうではなかった。

そこで本研究では、コミュニケーションの対象となる相手のことを考えた上で自分の表現を広めたり深めたりできる授業へと改善していきたい。また、相手のニーズを把握し、それに応えるためにはどのような内容を、どのように表現できるかを考えられる生徒の育成を目指す。

(2) 研究テーマに迫るために

① パフォーマンステストにおけるニーズの確認

単元のはじめにゴールとなる姿やパフォーマンステストについて、目的・場面・状況と共に生徒に提示する。パフォーマンステストにおいては、どの部分にニーズがあるのかを生徒と細かく共有する。また、ALTや級友とのコミュニケーションを通して、ニーズについて考えを深めることができる活動を設定する。

② 中間指導の充実

中間指導の際に、生徒の表現についてペアやグループで考える活動を設定し、相手のニーズに合った内容であるかや相手が知りたいことは何かを考えさせ、相手意識をもたせる。その際、スムーズにやりとりができるようにするため、帯活動等を使って英語でやりとりをする活動を継続的に行い、英語でコミュニケーションをとる場面を作りたい。評価基準とも照らし合わせ、どの視点で考えたらよいかを助言し、よりよい内容にするために何を表現したらよいか、どう表現したらよいかを生徒同士で話し合わせ、中間指導の充実を図る。

(3) 研究テーマにかかわる評価

① 目的・場面・状況に応じ、相手意識をもった内容で表現することができる。

② それまでのコミュニケーション活動を思い返し、自ら進んで表現しようとする生徒が増える。

3 単元と指導計画

(1) 単元名

Lesson 5 School Life in the U. S. A. (NEW CROWN1 三省堂)

(2) 単元（題材）の目標

日本の中学生に人気の人物について知らないALTに自分の「推し」を紹介するために、その人物の特徴や自分が好きなどころなどについて、写真を用いながら簡単な語句や文を用いて表現することができる。

(3) 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現在進行形の特徴やきまりについて理解している。	ALTに自分の「推し」を紹介するために、情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文を書いている。	ALTに自分の「推し」を紹介するために、情報や考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文を書こうとしている。

(4) 単元と生徒

① 単元について

本単元では言語材料として現在進行形を学習する。何をしているところなのかを英語で表現できるようになり、より詳しく説明することができるようになる。本単元ではLesson 5（三人称単数現在形）と合わせた単元末の言語活動としてALTに自分の「推し」を紹介する。単純に人物を紹介するだけでなく、日本人についてよく知らないALTに向けて、どのような説明をしたら分かりやすいかや伝わるかを考えさせたい。

② 生徒の実態

英語の授業では仲間と関わり合いながら前向きに取り組む生徒が多く、分からない点があれば相談しながら解決に向かう姿が見られる。また、Lesson 3におけるパフォーマンス課題を経て、少しずつ相手意識をもって課題を考えられるようになってきている。一方で半数近くがスローラーナーであり、特に書くことに対して課題が見られる。何を書けばよいか、どう書けばよいか分からず、手が止まる生徒もかなりの数がある。

(5) ゴールのモデルテキスト

This is my favorite singer, Aimyon.	(名前、何者か)
She sings J-POP.	(職業について詳しく)
My favorite song is <i>Harenohi</i> .	(おすすめポイント)
In the second picture, she is playing the guitar.	(写真の描写)
She can play the guitar well.	(おすすめポイント (特技・実績))
I like her voice.	(感想・自分の考え・実体験)
You can listen to her songs on YouTube.	(おすすめポイント (アクセス方法))

(6) 単元の構想

次 (時数)	学習内容	学習活動	主な評価基準と方法 (評価方法は【 】内で 記述する。)
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ゴールの姿の確認 現在進行形（肯定文）のきまり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ALTの好きな人物についての紹介を聞く。 ◎単元のゴールの確認 ◎現在進行形を用いて、画像の人物が何をしているところかを話したり書いたりする。 ◎現在進行形の肯定文を含む英文を聞いたり読んだりしてその内容を捉える。 	<p>記録に残す評価は行わないが、ねらいを達成するために生徒の状況を見取り、指導に生かすことは毎時間行う。</p>
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形（疑問文）のきまり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎現在進行形を用いて、相手に何をしているところかを聞いたり答えたりする。 ◎現在進行形の疑問文を含む英文を聞いたり読んだりしてその内容を捉える。 	
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞whichのきまり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎2つのもののうち、どちらが好きか聞いたり答えたりする。 	
4 (1)	<ul style="list-style-type: none"> Goal activity 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ケビンのメールの内容を読み取る。 ◎学校生活の1場面について3文程度で紹介する英文を書く。 	
4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 「推し」について、現在進行形や現在形を用いながら英語で紹介する文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎モデル文を見ながらどんな情報が必要かを考える。 ◎評価基準を確認する。 ◎「推し」について、どんな内容で書いたら魅力が伝わるかを考えて表現する。 ◎友達と書いた文を読み合い、必要な情報を考える。 ◎相互に添削する。 	<p>知・技 正確に英語で書くことができる。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>思・判・表 読み手が必要とする情報が何かを考え、情報を整理しながら書くことができる。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>主体的 読み手を意識するために、友達と積極的にやりとりを行っている。</p> <p>【振り返りシート】</p>

4 本時の展開（本時 9 / 10 時間）

(1) ねらい

対話をとおして必要な情報について考え、魅力的な紹介文を考えることができる。

(2) 展開の構想

① 評価基準

内容面の評価基準については、教師から提示するのではなく生徒と一緒に基準を考える。最低限必要な情報に加え、どの程度おすすめするポイントが入っていれば魅力が伝わるかを考えさせる。

② 不十分なモデル文の提示

言語活動に入る際、不十分なモデル文を提示し、ALTが他にどのような情報を知りたいと思うか、どのような情報を足すとその人物の魅力がより伝わるかを生徒に考えさせる。その際、魅力を伝える紹介文にするためには不必要な情報がないかについても思考を促すように展開する。

③ 中間指導

中間指導の際にペアで作文を読み合い、魅力を伝えるために必要な情報についてアドバイスし合う時間を設ける。ただ機械的にペアを組ませるのではなく、紹介したい人物について知っている人、知らない人それぞれからアドバイスを貰うことで多面的な見方ができるようにする。

④ 正確さの確認

内容面の充実を図った後、正確さの確認をするために共通の間違いを共有する。個人の作文については教師側から正解を伝えるのではなく、誤りのある文章に下線のみを引き、生徒自身に何が間違っているのかどう直したらよいかを考えさせるようにする。その際①個人で考える②友達と相談する、または教えてもらう③教師にヒントを貰いに行くのうち、どうするかを個々に選択できるように工夫する。

(3) 展開

時間 (分)	学習活動 ◎教師の働き掛け S 予想される児童（生徒）の反応	□評価 ○支援 ◇留意点
導入 7分	○スモールトーク（Q&A） ○課題の提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ALT の先生に向けて「推し」を魅力的に紹介する英文を書こう！ </div> ◎評価基準を提示する	○この後の活動で使えるような質問で行う。
展開 38分	○個人での英作文（1回目） S：“This is my favorite singer, Aimony.” S：“I like <i>Harenohi</i> .” 他に何を書こうかな…	◇本時は内容について重点的に考える。 ○机間指導を行い、評価基準に照らし合わせながら手が止まっている生徒を支援する。

	<p>○対話による内容面の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい「推し」について知っている人を探し、他にどんな内容を足したらよいかアドバイスをもらう。 ・紹介したい「推し」について知らない人を探し、分かりにくい点がないか、どんな情報が必要か、不必要かの視点でアドバイスをもらう。 <p>S：あいみよんの誕生日は削って、J-POPを歌うことを伝えたら？</p> <p>S：ハレノヒってどんな曲？</p> <p>S：「YouTubeで聞けるよ」って言いたいんだけどどう言ったらいいか分かる？</p> <p>T「あなたが知っている豆知識はあるかな？」</p> <p>T「どんな人だと思う？かっこいい？かわいい？」</p> <p>◎作文のよい点を全体で共有する（中間指導）</p> <p>○再度個人での英作文（2回目）</p>	<p>□対話をとおしてよりよい内容にしようとしている。</p> <p>【主】</p> <p>○うまくアドバイスが出てこなかった際は思考を促す。</p> <p>○必要に応じて全体にもアドバイスをする。</p> <p>□読み手が必要とする情報が何かを考え、情報を整理しながら書くことができる。</p> <p>【思判表】</p>
<p>終末 5分</p>	<p>○振り返りシートの記入</p>	<p>□本時を振り返り、次回に生かそうとしている。【主】</p>

(4) 評価

- ①読み手が必要とする情報が何かを考え、情報を整理しながらワークシートに書くことができている。【思・判・表】
- A：名前、職業、写真の説明に加え、ニーズを踏まえたおすすすめポイントが3つ以上入っており、かつ伝える順序を工夫している。
- B：名前、職業、写真の説明に加え、ニーズを踏まえたおすすすめポイントが2つ以上入っている。
- ②友達と積極的にやりとりを行い、読み手を意識した文を書こうとしている。【主体的】
- A：友達とのやりとりや全体共有の内容を2回目の英作文に活かしている。
- B：友達とのやりとりを2回目の英作文に生かしている。

5 成果と課題

(1) 研究テーマにかかわる評価

- ① 1回目の作文の後のやり取りを経て、2回目の作文で25人中23人が内容面において1回目に比べて充実した作文を書くことができた。やりとりを2回行い、紹介したい人物について知らない友達からの質問に答えることで、その人物を知らないALTが必要とするであろう情報を想起できたものと考えられる。

<抽出生徒Aの1回目の作文>

This is my favorite band, YOASOBI. They are famous band in Japan. They sing J-POP. They create many popular song.



・アドバイスタイムのメモ：メンバーの名前、どんな曲

<抽出生徒Aの2回目の作文>

This is my favorite band, YOASOBI. This is band singer name is Ikura. Lyricist name is Ayase. They are famous band in Japan. They create many popular song, "Yorunikakeru", "Gunjo",

<抽出生徒Bの1回目の作文>

This is my favorite singer, Yuika. She sings J-POP. She is good at guitar. She is cute.



・アドバイスタイムのメモ：どんな曲か詳しく、好きな曲

<抽出生徒Bの2回目の作文>

This is my favorite singer, Yuika. She sings J-POP. She sings "Koidorobou". My favorite song is "Last teen". She is good at guitar. She is cute.

最終的に完成した紹介文について、内容面での評価基準は25名中S評価9名、A評価13名、B評価3名であった。また、振り返りには以下のような記述が見られた。

- ・ALTの先生に伝える推し紹介文を作る時、友達とアドバイスをし合ったりサポートしたりすることができた。
- ・分かりやすい文章にするために順番を変えた。
- ・友達に聞いてアドバイスをいっぱいもらってよい文章になった。
- ・ALTの先生にも何回も質問して、できるだけたくさん情報を書くことができた。

- ② 1回目の作文の平均語数は18語、2回目の作文の平均語数は25語であった。また、言語活動を行っていくうちに、友達にどのような内容をどのように書いたか尋ねる姿が自然と見られるようになり、それを参考に自分の作文を練る姿が見られた。言語活動後の振り返りでは「学習した英語を使って積極的に表現するようになった」の項目に対し、全ての生徒が肯定的に回答した。（とても当てはまる15名、まあ当てはまる10名）

(2) 実践の成果と今後の課題

評価基準を生徒と共に考えて設定したため、伝える順序やニーズを踏まえたおすすめポイントについて意識しながら文を書くことができた。（次頁表1）また、個々の作文に入る前時に不十分なモデル文を提示し、必要な情報、不必要な情報について考えさせた結果、前単元で行った家族紹介、友達紹介の際に見られた誕生日の紹介や苦手なものについての記述がほとんど見られず、できるだけ魅力が伝わる情報を書こうとする生徒が多く見られた。

(表1)

	正確さ	内容
S		A評価をクリアに加えて、ALTの先生が調べてみたいと思う内容である。
A	文法的なミスがほぼなく、ALTに書きたい内容が正確に伝わる。	紹介する人物の名前、職業、写真の説明に加え、ニーズを踏まえたおすすめポイントが3つ以上入っている。また、伝える順序を工夫している。
B	文法的なミスはあるが、ALTに書きたい内容が伝わる。	紹介する人物の名前、職業、写真の説明に加え、ニーズを踏まえたおすすめポイントが2つ以上入っている。
C	B評価を満たさない。	B評価を満たさない。

また、本時ではアドバイスタイムで紹介したい人物について知っている人、知らない人それぞれからアドバイスをもらうことで、多くの生徒が紹介すべき内容を多面的に考え、必要な情報を増やして書くことができた。また、何を書いたらよいか分からない、どう書いたらよいか分からないスローラーナーにとっては、友達と意見を交わしたり、友達の作文を参考にしたりする時間は、書くことに対しての心的ハードルを下げることができたと推察され、粘り強く課題に取り組む姿が増えてきている。一人一人紹介する人物が異なるため、友達の作文をそのまま写すということがなかったのもよかった。また、英語を得意とする生徒については、ALTに授業に入ってもらうことで、実際に必要な情報を直接ALTに尋ねることができるようになり、さらなる能力の伸長を図ることができた。内容面だけでなく、正確さの上でも協同的に学ぶことで、既習事項を想起させながら自分の力で書いたという達成感を味わうことができた生徒が多かった。

課題としては2回のアドバイスタイムにおいて、紹介したい人物について知っている人が学級の中におらず、知っている人を探すのに時間を取られてしまった生徒がいたことである。1回目のアドバイスで十分内容面を充実させられそうであれば、戻って書き始めてもよいこととするなど、授業の複線化を図ることで言語活動を行う時間の確保に努めたい。また、中間指導の際にもよい点を共有するにとどまらず、細かく内容をラベリングし全体へ返すなど、生徒個人の作文に活かせるようにする工夫が必要である。

評価基準を共有することでそれを指標として書く生徒が多かったが、基準内にある「ニーズを踏まえたおすすめポイント」について十分に考えが行き届いていない生徒もおり、その結果、数名が内容面でB評価となってしまった。課題を「ALTの先生は音楽に興味があり、日本の中学生がどんなアーティストが好きか気になっている」などテーマをさらに絞ることでニーズについて、生徒により具体的に考えさせることができるのではないかと思われる。ただ、その場合音楽に興味が無い生徒にとっては熱量のある文章を書くことが困難になってしまう。よって、ニーズの具体化と生徒の興味関心のどちらにも焦点を当て、伝える相手・内容を複数から選択できるなど課題の設定に工夫を重ねていきたい。

<参考・引用文献>

文部科学省. 『中学校学習指導要領解説 外国語編』. 開隆堂出版株式会社. 2018

文部科学省. 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校外国語』. 東洋館出版. 2020

6 資料（単元構想図）

単元における「見方・考え方」を働かせた姿の想定

日本の有名人についてあまり知らないALTに向けて、必要な情報が何か、何を伝えたら魅力がより伝わるかを考えながら自分の「推し」について英語で紹介する文を書くことができる。

Lesson5 までの学習で...

身近な第三者について紹介することができる！

3人称単数形はOK！

どんな時にsが付くんだっけ？

canとの違いは？

<単元の指導計画>

帯活動（好きな〇〇についてスマイルトーク）

1	<ul style="list-style-type: none"> ALTの好きな人物についての紹介を聞き、ゴールのイメージをもつ。 	ソフィア先生の好きな歌手ってこういう人なんだね。私は誰を紹介しようかな。
2	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形（肯定文）のきまりを理解する。 新しい語彙にふれ、教科書本文の内容を読み取る。 	紹介するのに写真があるといいなあ。 写真の人物が何しているかを説明するのに現在進行形が使いそうだね。
3	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形（疑問文）のきまりを理解する。 	教科書のQ&A、答えが出たけどあっているか不安だから〇〇さんにも聞いてみよう。
4	<ul style="list-style-type: none"> 新しい語彙にふれ、教科書本文の内容を読み取る。 	ソフィア先生に猫派か犬派か聞いてみよう！
5	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞 which のきまりを理解する。 	教科書の後ろで単語を調べよう。
6	<ul style="list-style-type: none"> ケビンのメールの内容を読み取る。 学校生活の1場面について紹介する英文を書く。 	給食ってなんて言うんだろう？ソフィア先生に聞いてみよう。
7	<ul style="list-style-type: none"> モデル文を分析する。 	これで伝わるかな？確認してもらおう。
~	<ul style="list-style-type: none"> 評価基準について確認する。 	〇〇だったらこれもおすすめじゃない？
10	<ul style="list-style-type: none"> 魅力を伝えるために友達と関わり合いながら、紹介文を書く。 相互に添削する。 	これって何？もっと詳しく教えて！
11	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返る。 	評価基準のこの部分が足りなさそう。 この文は動詞にsがいるよ！



Good Job!

今度曲を聴いてみるわね！
(ALTによるフィードバック)

いろいろな内容で紹介することができたよ！次は〇〇について紹介したいな！